

## 論文のレイアウトを考えよう

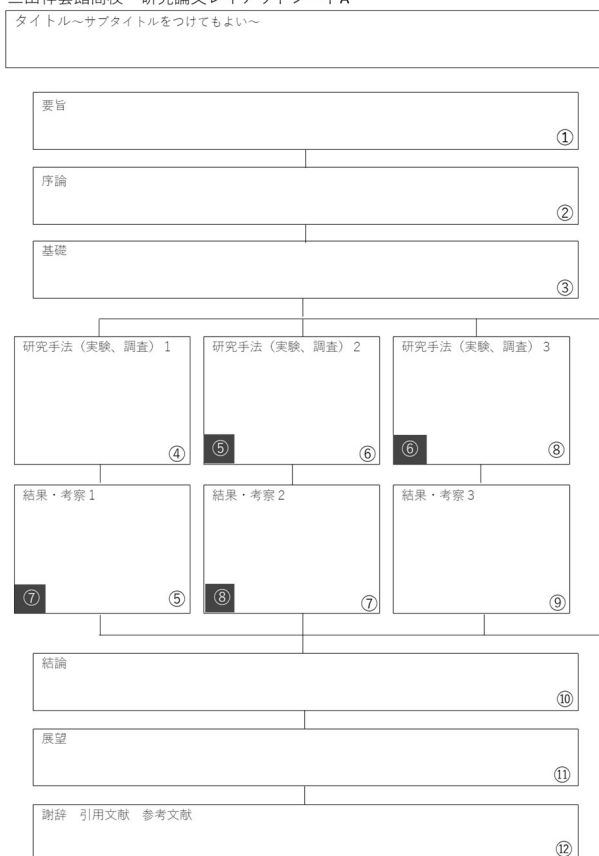
テンプレートにある項目を図にすると、下のようになります。左 (A) が基本のレイアウト、右 (B) は、目的の異なる研究手法がある場合 (章立てにするような場合) です。研究手法 (実験 or 調査) と結果・考察の組み合わせは、自分が研究を行った数です。1つの場合もあるでしょう。図中の①②・・・は論文に書く順序です。左 (A) の場合、④～⑨は2通りの順序がありますが、どちらでもかまいません。

まず、左 (A) の図のそれぞれの枠にどんなことを書くかを考え、埋めていきます。テンプレートにあるそれぞれの項目の解説を読み、内容を考えましょう。研究手法が複数あり、それらの目的が異なる場合は、右 (B) 図を検討します。目的別にまとめると、すっきりします。結果・考察の枠には、どんな表や図を使うかも考えておきます。

それぞれの枠に書くことが決まったら、「序論と結論」、「研究手法と結果・考察」、「結果・考察と結論」が、それぞれきちんと対応しているかを確認しましょう。それが、「論理的に書く」ということです。

このレイアウトをしっかり考えておけば、論文はどこから書き始めてもかまいません。1つの枠に400字程度の文章を書く、などと決めておくと分量の目安がわかりやすいですね。文章の書き方は、課題研究メソッド P. 149-153 を参考にしてください。

三田祥雲館高校 研究論文レイアウトシートA



三田祥雲館高校 研究論文レイアウトシートB

